

善意フェスティバル「2023」 Q&A 及び感想

- スタンプラリー問題点**
- Q スタンプラリーで一番目の「アジアゾウ」まで行くのが遠い。
スタンプラリーのルールが徹底されていましてルールの徹底が必要と感じた。
スタンプラリーのルールが分かりづらい。
シークレットのスタンプラリーの高校生が「〇番担当」と言って我々のイベントの机に陣取り迷惑でした。
コーナーで押さずスタンプを持ち歩いて押している。
スタンプラリーはコーナーへ行って押すものではないか？
ゲームの流れはゲームして、記録して、景品貰い、スタンプを押すではないですか？
シークレットの高校生がスタンプを押すと、ゲームせず景品を持っていく人がいて困る。
(別の離れた処でやって頂きたかった。(不要と感じました))
参加者の我々のレイアウトも見直したいです。
ルールが解りずらく開会式で周知して欲しかった。
- A 感想で多くの方が「遠い」というご意見頂きました。
必須の場所を実行委員会で見直していきます。
スタンプラリーの在り方の再検討が必要だと考えています。
- スタンプラリー良い点**
- 何時もは憩いの広場で終わってしまいますが動物園まで行けた。
- コーナー問題点**
- Q お菓子を180本準備しましたが不足でした。
次回は数量見直します。
ある団体は配るだけ配って終わると早々に帰ってしまう。
(自社・団体)コーナー運営については、準備段階から当日まで多々あり、毎回工夫しながらより良くしていきたい。
マップと実際の場所がずれていた。コーナーを探すのに時間がかかった。
- A 当行も少し余分に準備しましたが、必要数の把握は難しい課題だと思っています。
このQ&Aを配布して参加者の方へお願いをしていきます。
- コーナー良い点**
- 藤ノ花高校の生徒さんがすごく頑張って頂き、来年も機会があればご協力お願いいたします。
高校生の接客態度が非常に良く、スタンプ印を押すだけでなく、誘導や子供達への声かけ、励ます態度には感心するばかりでした。
来年以降もこのような高校生の応援がいただければ有り難いです。
コーナーが減少しましたがちょうど良い感じがしました。
全体的には参加者が増えイベントごとにも安心してできる雰囲気となり皆さんに楽しんで頂けたので良かったと思います。
準備について、貸出の備品は所定の位置にあった。
座卓や机用にビニールカバーを用意されていた。
「世界一大きな絵」のように今年ならではの企画が有ったこと
ゴミ箱が設置されており助かりました。
コーナーの種類が豊富で、ルール説明も十分になされており、楽しく参加できていた。
- コーナー改善点**
- Q 体験コーナーで歩道面に向けた場所でも催され、段差の上に机が更に乗るため
車椅子だと目線が高く、体験しづらいです。
道具を取りに行った際、場所が分からなかった。
バッコ板4枚・ビンバック6個しかなかった。
(板1枚×ビンバック1.5個)
板2枚でプレーになった。
箱が昨年と変わっていた。
- A 参加団体さんへこのQ&Aを配布してお知らせいたします。
お互いが理解することが大切だと考えています。
道具は東屋へまとめて準備しましたが分かりづらくご迷惑をおかけいたしました。
バッコは体育協会からの貸出品なので来年度借りる際、数量は適正か聞いてみます。
申し訳ありません。出来るだけコンパクトに分かりやすくする為、箱を変更しました。
- グループ行動良い点**
- 参加してくれた高校生のボランティアがとてもやさしく親切だった。
- グループ行動問題点**
- Q グループ行動の人数配置に疑問
(子ども3人に対して20人ぐらい)
聴覚障害の方と行動する際、会話が筆談具になってしまっていたので手話の会の方に入っていたらどうか？
- A ご指摘ありがとうございます。
施設様・高校様との人数バランスが上手く配置できず申し訳なく思っています。
このQ&Aを配布して各参加者関係者にお知らせします。
- 日程について**
- 開始時間・終了時間もよかった。
できればですが「ゴミゼロ」の日を避けて頂けると幸いです。
- お弁当良い点**
- お弁当とお茶を別々にお茶を早く受け取れるように工夫していただいたこと。
- お弁当改善点**
- Q Cの場所は人通りが多くすぐに弁当がなくなりますので少し多めに配布してはどうですか？
Aの場所は日が回り暑いところで。若い高校生だから場所を少し移動したくても若さから言い出せないところがあるのでは？
また、昨年と同様、お茶券があるの知らない方がまだ、ずいぶんありました。
また、スポーツ飲料が1箱を配ってよいものか？迷いました。
地図の端にあること何かで知らせたらよいのかと思いました。
今回の弁当はおにぎりだったが、梅干しの種を取り除く必要があった。
できれば種が無いものにして欲しい。
- A 本年は昨年よりCに配布数を少し増やしましたが来年ももう少しCへ配布数を増やしてみます。
「Aの場所は日陰に移動してもいいですよ」と説明会で話をしましたが伝わらず残念です。
スポーツ飲料は本年初の試みで試験的に実施しました。連絡が行き届かず申し訳ありません。
来年度が「お茶」を「飲み物」へ表記を変更を検討します。
直前説明会ではマップの隅にお茶券が有ることは伝えているのですが・・残念です。
おにぎりの梅干しの種ですが、業者へ可能か？相談した所「現状では難しい」との回答でした。
いい案が有りましたらお知恵をお貸ください。

善意フェスティバル「2023」 Q & A 及び感想

- 野外コロシアム良い点
ステージ発表が予定通り進行できたこと。
(以前は終わりの会が遅れることがありましたので)
他団体さんの協力で無事演奏ができた。
- 野外コロシアム改善点
Q 毎年の事ですが、開会式の間コロシアムには車椅子では入る事が出来ない。
観客席が炎天下なので日陰が有るといい。
観客席で個別の説明をしている団体がいて演奏側としては残念でした。
野外コロシアムと本部の連携ができていない。
使わないスタンドがおかれていた。
A のうほいパーク施設管理者へ相談してみます。
Q & Aにてお気持ちを皆さんへ共有していきます。
申し訳ありません。音響担当者との連携が上手く出来ていませんでした。
- 販売コーナー
高校生のボランティアもすぐはりきって、昨年より当所の売上げが伸びました。
施設販売ブース4か所でしたが、当日何事業所が来るのか分からずスペースをお互いで話し合って決めました。
車いすの方の多く広場の段差考えテントを設置するとよかったです。
- 駐車場について
駐車場係理については、施設側の警備員がおり結果としてできることは無かった様なのでなくてもよいかもしれません。
- 初めの会改善点
Q 開会式が長い。(日影が無いので特に感じた)
車椅子の使用説明はボランティアの方のみで、障害者団体が退場した後で出来ないか。
集合場所が事前に配布されていなく集合場所が分からず困った。
一緒に回る団体さんと事前に話を出来るように集合場所などの情報が事前に欲しい。
A ご指摘ありがとうございます。出来るだけ挨拶等簡略化しましたが、長く感じる方もいる事が解りました。
主催者側としては、お互いを理解する事が大切と考え同じ場で説明をしています。
申し訳ありません。前任者との引継ぎ不足でご迷惑をおかけいたしました。
ご指摘を受け直前説明会までに初めの会の集合場所をお渡します。
- 支払い
Q 集金方法を5/23ではなく口座振替(請求書)にしてはどうか？
A ご指摘ありがとうございます。前向きに検討していきます。
ただ、残念なことに突然の人数の変更に対応が難しい状況です。
- 入場
Q 高校生ボランティアで事前入場しない生徒を東門から入場させてほしい
中央門での集合をやめてほしい
(理由:バスを利用しない生徒は東門が便が良い)
A 言われることは理解できます、バスを東門へ入れることが難しく中央門に集合にさせていただいております。
理由の件、重々承知しております。
バス又は自転車でくる大多数の生徒さんの利便性を考えての集合場所になります。
ご理解頂ける様お願いいたします。
- その他
バスの時刻表を作っていたいただいたこと。
Q ポスターの写真を施設利用者を使う場合事前に連絡が欲しい。
胸につけるシールの粘着力が弱い。
担当者により説明が異なることが有った。
A 来年度からは事前に相談するかイラストに変更を検討します。
強粘着のシールを探してみます。他にいいアイデアがあれば教えてください。
担当者間の連携がとれておらずご迷惑をおかけいたしました。
- 学生の感想
生徒1 始めの会でのお話では、障害のある方に対して「やってあげる」という意識では相手が不快に思ってしまうため、「一緒に楽しむ」という意識が大切だということが分かりました。私たちがお手伝いをした水鉄砲のコーナーでは、小さな子や障害のある方に「すごい！」や、「上手だね」などと声をかけると笑顔で喜んでいて、見ている私も笑顔になりました。今回のイベントを通して、小さな子や障害のある方たちと同じ目線で何かを行うことは、その方たちが自然と快く楽しめる方法だということが分かりました。小さな子や障害のある方たちは、できないことが多いこともありますが、1人の人として接し、できることは任せたり手伝う時は相手が不快に思わないように手伝ったりすることが大切だと思いました。
生徒2 今回は予定していた介助ではなく、水鉄砲のゲームのお手伝いをやらせてもらいました。前参加した時は1人の方と一緒にゲームなどをして回りました。今回はそれと違ってゲームをやらせてもらう側で参加することで色んな人と関わることが出来ました。小さな子達からお年寄りの方、視覚障害者の方など幅広い人をお手伝いしながら見ていました。それぞれに合った遊び方を考えて介助しながらやってみたり、近めでやらせてもらったりと工夫してみんなが楽しめていたのですごくいいと思いました。このように臨機応変でみんなが楽しめる空間を作っていくことは、ボランティア活動の上でとても大切なことだと思いました。前とは違った視点でこのフェスティバルに参加できてまた新しい考え方が増えてとても良い機会になりました。
生徒3 5月28日に行われた善意フェスティバルはとても充実した時間となりました。豊橋中央高校の人と一緒に水鉄砲の呼び込みをしました。運営の方がとても優しく明るくて、楽しんで作業することができました。新聞紙の折り方を工夫して難しくしたり、逆に簡単にしたりして障がい者の方や子ども、高校生、大人などさまざまな人に喜んでもらえてうれしかったです。今回学んだことはお客さんのニーズに応えるために工夫をしたりさまざまな特徴を持った人がいるのでその人に合わせて行動したりすることが大切だと分かりました。1番心に残っているのは誰か一人が笑顔でいるとうつつ、自然とその場にいる人みんなが笑顔になっていて、幸せな空間になっていました。誰かが頑張っているとつい応援したくなる雰囲気とても良かったです。
生徒4 今回は担当の施設がクラスターのため、参加不可能となってしまいましたが、それでも出来ることを行いました。去年とは違い、お店側に立ち、水鉄砲のコーナーのお手伝いをしました。突然でしたが、向こうのボランティアの方はとても良くくださり、いろんな方と接することができました。介護する事が目的でしたが、お店側に立ってたくさんの方と関わって交流できたので良かったと思います。

善意フェスティバル「2023」 Q & A 及び感想

- 生徒5 初めての善意フェスティバルはとても楽しんで参加することができました。当初の予定とは異なるお手伝いをさせて頂いたり、お手伝いをするだけでなくいくつかのブースを回らせて頂いたり貴重な経験ができたなと思っています。特に、当日にお手伝いさせていただくことか決まった水鉄砲のブースでは幼児から障害を持つ方、高齢者、同年代など様々な人と水鉄砲というツールを通してコミュニケーションを取りながら、利用者さんだけでなく私も一緒に楽しむことができました。何よりブースのお手伝いをさせて頂いて喜びを感じたのは、ブースの利用者さんが笑顔になって帰って下さった時です。私たちが準備したセットでゲームに挑戦して成功した時の嬉しそうなお顔を見れた時は、お手伝いをする私もとても嬉しかったです。たとえ言葉が伝わりずらくても、上手く意思疎通が出来なくても、その場を盛り上げる、楽しむということは一緒にできて、人と人とが繋がることができました。善意フェスティバルの会場は、思いやりの気持ちで溢れている素敵な会場でまたの機会があれば是非参加したいと思わせてもらいました。人と話すのが好きな私にとってこの善意フェスティバルは忘れることの無い思い出となりました！来年も善意フェスティバルに参加できるのであれば、今年以上に色々な方とお話を通して自分の将来を考える上でのヒントとなるような積極的な活動をしていきたいです。いいお天気にもめぐまれて、有意義な一日となりました。ありがとうございました。
- 生徒6 施設のお子さんが思いやりのある優しいお子さん方で、私たちの方が癒される。そんな時間を持てたことは、この会ならではの体験だと思います。
- 生徒7 風船バレーを終えた人たちが、皆笑顔でやりがいを感じた。困っている人がいたら積極的にコミュニケーションをとれる人になりたい。グループ行動が初めての経験で必死になり自分は楽しむことができなかつたが途中から相手の考えている事が解ってきました。施設の方と仕事の話の中でやりがい、コツなどを聞かせてもらい人として成長したと感じています。
- 生徒8 最初は友達に誘われて軽い気持ちで参加しました。やってみたら捉え方や価値観が変わりました。実際にお年寄りや体に障がいを持った人たちと触れ合い心が動かされました。目が不自由な方が全力でフリスビーを楽しんでいるのを見て感動しパワーをもらいました。新しい価値観に驚かされた1日でした。
- 生徒9 様々な事情を抱えた人たちが沢山いるんだと実感しました。目が不自由な方が、手で触って位置を確認しフリスビーを的にあてられてすごいいいと思いました。まだ、自分が知らない事が身の回りに溢れているんだと感じました。
- 生徒10 障がいを持った人たちと関わったことで、身体を動かすことが不自由だったり物を持つことも難しいかたりする人達がいることを知りました。しかし、自分が思った以上に、表情が豊かで、ゲームをした時に嬉しかったり、うまくいなくて悔しかったりする感情が見て分かって驚きました。上手にできたか分からないけど、一緒に回れてよかったです。

施設・団体の感想

- 施設1 ヘルパーと参加しました、動物園の車椅子を借りて自分で車椅子を押しながら歩き高校生のボランティアさん3人と会話をしながら各ブースを回り「じゃんけんゲーム」「工作」をしたり「大福」が美味しかったです。1番楽しみにしていたのは、車椅子体験です。僕が車椅子なので少しでも気持ちをわかって欲しくて薦めました。ところが今回は、僕の車椅子を押す為の押し方の体験でした。高校生達は、車椅子には乗らなかつたので残念でした。次回は絶対乗る体験をしてほしいです。あと、今回のボランティアさんはスタンブラリーを全制覇してくれました。全制覇は初めてでした。僕の車椅子を押して、象さんの方まで行くのは大変だったと思いますが、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 施設2 家族4人で参加し、子ども達も福祉やボランティアのこと、人と人との繋がりなどに関心をもち、子ども達自身この体験から感じるもの学ぶものが大きく、とても意義のある一日になりました。ありがとうございました。
- 施設3 毎年の事ですが、開会式の間コロシアムには車椅子では入ることもできません。待っている間できるだけ日陰で待ってもらおうようにしていますが、体力的につらい方もみえますので、日傘など持参するようにこれからは促そうと思います。
- 施設4 ボランティアさんが付き、皆さん楽しく参加出来ました。助産品販売日陰で販売の方がしやすかったです。
- 施設5 準備も大変だと思いますが、とても楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。久しぶりののうほいパーク、学生さんもとて面白い子で遊びも一緒に付き合ってくれ、楽しい一日を過ごせました。
- 施設6 ミニゲームや体験コーナーが多くあって子供たちが楽しめた。カキ氷やポップコーンを食べれて大満足です。各コーナーが密集していてテンポよく回れました。(午前ゲーム・午後動物園)ボランティアの方が温かく対応してくれた。
- 施設7 参加者と高校生ボランティアが、一緒に昼食をとることが出来ると良い。小坂井高校の生徒さんの笑顔を素敵で、優しく元気いっぱいに参加児童と関わってくださりありがたいと感じた。ただし、自施設に対するボランティアの人数が多く、参加児童と関われない生徒さんがいた。